



令和3年度

学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ~学ぶ喜びにあふれた学校をめざして~

令和3年5月28日

横浜市立高田小学校

6月号

ICT活用 スタート

校長 赤坂 桂

国のGIGAスクール構想により、「児童1人1台端末の整備」「校内通信ネットワークの整備」が進められてきました。高田小学校では5月中に準備が整い、全校児童506名全員のiPadが届きました。まずは一人一人がiPadを手に取り、ログインすることからのスタートです。

初めて使う日の授業の様子を見に行きました。手渡された新品のiPadに目を輝かせ、新しいことの始まる期待にみんなワクワクしていました。配られたiPadはキーボード付きのケースに入っています。「かっこいい！ケースの色もすてき！」と、うれしそうです。先生の示す手順をよく聞きながら真剣な表情で文字を打ち込んでいました。

様子を見ていて気が付いたことが二つあります。一つは大文字小文字が難しいこと。子供たちが入力するIDは小文字です。しかし、キーボードに書かれている文字は大文字なのです。ですから例えば「b・r・e」と打つにも「B・R・E」を見つけなければなりません。教科書でローマ字を学習するのは3年生ですので低学年の子供たちがわからないのも当然です。一つ一つ教えてもらいながら10文字程度を打つのも大変そうでした。しかし、こうして日常的に道具として使っていくうちに自然と文字も覚えていくのでしょう。

もう一つは写真です。写真アプリを使っているクラスがありました。子供たちは景色や机の上の文房具などを試し撮りしています。私がそっと教室に入ると「校長先生だ！」と声上がり、いくつものレンズがこちらを向いてパシャパシャと撮影されました。まるで芸能人のようです。声をかけてくれるのはうれしいのですが突然撮影されるのはあまり気持ちのよいものではありません。「人の写真を撮るときは相手に許可をもらわないといけないよ。」と伝えると「そうか。すみません。撮ってもいいですか。」と素直に改めてくれました。こうしたマナーやルールも子供たちはこれから学んでいく必要があります。

時代は後戻りしません。これからはこうしたICT環境の中で子供たちは育っていきます。しばらくは戸惑うことも多く発生しそうですが、教師も子供と一緒に新しい技術を身に付けて新しい時代へと踏み出していこうと思います。